



平成 18 年 9 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社キリン堂
代 表 者 名 代表取締役社長 寺西 豊彦
(コード番号 2660 東証第一部・大証第二部)
問 合 せ 先 常務取締役 井村 登
事業戦略室長
(TEL. 06-6330-0211 (代表))

平成 19 年 2 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 3 月 31 日の決算発表時に公表しました「平成 19 年 2 月期 (平成 18 年 2 月 16 日～平成 19 年 2 月 15 日)」の業績予想 (連結、個別) を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 当期の通期連結業績予想の修正 (平成 18 年 2 月 16 日～平成 19 年 2 月 15 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A) (平成 18 年 3 月 31 日)	74,291	2,008	781
今回修正予想 (B)	72,564	1,722	690
増 減 額 (B-A)	△ 1,727	△ 285	△ 90
増 減 率 (%)	△ 2.3	△ 14.2	△ 11.6
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 2 月期)	66,690	1,574	753

2. 当期の通期個別業績予想の修正 (平成 18 年 2 月 16 日～平成 19 年 2 月 15 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A) (平成 18 年 3 月 31 日)	74,000	2,000	780
今回修正予想 (B)	72,300	1,745	709
増 減 額 (B-A)	△ 1,700	△ 254	△ 70
増 減 率 (%)	△ 2.3	△ 12.7	△ 9.0
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 2 月期)	66,356	1,544	744

3. 業績予想の修正理由

当社グループの平成19年2月期上半期の業績につきましては、昨年ブームとなったコエンザイムQ10等のヒット商品や、花粉症関連等の季節商材の販売が低迷いたしました。

一方、ヘルス&ビューティケア商品の販売強化や販促の見直し等により、化粧品や雑貨等の粗利率は上昇したものの、上述のヒット商品や季節商材の販売不振等の結果、粗利率の改善幅は限定的となり、販売費及び一般管理費の増加を吸収するに至りませんでした。

この結果、平成18年9月21日及び9月26日に公表のとおり、当上半期の連結及び個別の、売上高、経常利益、中間純利益いずれも業績を下方修正いたしました。

下半期につきましては、粗利率のさらなる改善とコストコントロールの維持を経営の根幹に置き、ヘルス&ビューティケア商品の販売強化や販促の見直し等により収益の確保に努めてまいります。

以上の結果として、上記のとおり通期の連結業績予想を修正いたします。

また、通期の個別業績の修正につきましても、連結業績と同一の要因によるものであります。

なお、現在進めておりますM&Aの進捗状況ですが、平成18年7月26日に公表の(株)ニッショードラッグの株式取得(子会社化)の基本合意については、株式譲渡契約の締結時期等を含め現在協議中であり、今後の連結業績に与える影響については適時発表させていただきます。

同じく、平成18年9月5日に公表の(株)ジェイドラッグの株式取得(子会社化)については、10月初旬に当社の連結子会社となる予定であります。本株式の取得が当連結会計年度の業績に及ぼす影響については、軽微であります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上